

第62回水道週間作品コンテスト

■市内小中学校・事業者から 330 点の作品が応募



第62回水道週間作品コンテストを開催しました。市内小中学校と事業者の皆さんから合わせて330点の応募があり、審査の結果26人が受賞しました。

コンテストの特選・入選作品を、第62回水道週間協賛懸賞募集（主催：日本水道新聞社・日本水道協会・全国簡易水道協議会、後援：厚生労働省）に出品した結果、図画小学校低学年の部で阿部真梨那さん（南方小2年）の作品が見事入選に選ばれました。

受賞した作品は、令和3年2月8日から2月13日までイオンタウン佐沼店内通路に展示しました。



イオンタウン佐沼店内通路に展示

第62回水道週間作品コンテスト入賞者及び入賞作品（敬称略）

◆第62回水道週間協賛懸賞募集（全国コンクール）受賞 入選 図画小学校低学年の部

南方小学校2年 阿部 真梨那

(1) 第5608号
購読料 1ヵ月2,600円
1年 31,200円 消費税含む
(昭和29年2月9日第三種郵便物認可)

第62回水道週間懸賞募集 特選・入選作決定

主催：日本水道新聞社、日本水道協会、全国簡易水道協議会
後援：厚生労働省/協力：毎日新聞社

第62回水道週間協賛「懸賞募集」の最終審査会が11月18日に開かれ、作文・図画・習字の4部門で特選・入選作品が決まりました。審査は主催・後援団体の代表者によって行われ、全国の応募作品から選ばれた最終ノミネート作品について討議を重ねました。受賞者は次の通りです（敬称略）。

作文の部

☆小学校低学年☆(応募点数 24点)
【特選（厚生労働大臣賞）】「水はかせになりたないな」=百瀬聖衣子（会津若松市立小金井小学校2年）
【入選】「大切な水の大切さ」=小籠太（会津若松市立行仁小学校2年）/「水はみんなのたからもの」=佐々木志穂（会津若松市立才学園小学校2年）/「安心がつくように」=小籠太（白石市立白石第一小学校3年）/「私がのんでいる水はどこから来たの」=愛理莉音（会津若松市立才学園小学校3年）/「水はたからもの」=中村大（会津若松市立一貴小学校3年）/「おいしい水」=水江智哉（松川市立豊秋小学校3年）

☆小学校高学年☆(応募点数 50点)
【特選（厚生労働大臣賞）】「大切にしよう、命の水」=フエィガン 瑠璃奈（山形市立寺岡小学校4年）
【入選】「一人の女の子から」=船田海（宮城県立立井南小学校4年）/「大切な水道水」=小池彩音（会津若松市立河東学園小学校4年）/「私たちのきれいで大切な水」=水根美花（熊本市立白百合学園小学校4年）/「水に感謝」=佐々木穂花（会津若松市立錦成小学校5年）/「未来へ残したいきれいな水」=三浦雪乃（石巻市立山下小学校6年）/「本当の幸せとは」=大島磨（川崎市立橋生小学校6年）

☆中学生☆(応募点数 28点)
【特選（厚生労働大臣賞）】「水道民営化を考える」=佐藤若菜（宮城県山田二中学校3年）
【入選】「水の大切さ」=藤田まこと（宮城県立生目中学校1年）/「人と水」=藤井希花（石巻市立山下中学校2年）/「日々のあたり前に感謝」=中村紀哉（宮城県立生目中学校2年）/「水ストレスのない世界へ」=遠藤萌花（東京都立米沢第一中学校3年）/「未来につなげたい水」=弘生朋花（会津若松市立第二中学校3年）/「命の保証」=高畑彩葉（川崎市立塚崎中学校3年）



図画の部

☆小学校低学年☆(応募点数 590点)
【特選（日本水道協会会長賞）】長尾映列（足利市立坂西小学校3年）
【入選】高橋裕花（東京島市立大塚小学校1年）/菊川鈴世（会津若松市立城西小学校1年）/藤原真菜（宮城県立南郷小学校2年）/日蓮聖太郎（宮城県立南郷小学校2年）/野崎宏太（福高市立天深川小学校2年）/鈴木紅歌（長川市立橋小学校3年）

☆小学校高学年☆(応募点数 1,316点)
【特選（日本水道協会会長賞）】鈴木愛良（厚木市立飯山小学校5年）
【入選】山本成乃（足利市立御厨小学校4年）/岡田珠彩葉（明小小学校4年（東京都））/藤小香（今治市立近見小学校4年）/越田虎吉（宮崎大学教育学部附属小学校4年）/大平由香（足利市立南小学校6年）/藤辺奏大（東京都渋谷区立西原小学校6年）

☆中学生☆(応募点数 100点)
【特選（日本水道協会会長賞）】中森莉音（会津市立港中学校3年）
【入選】川崎美多（石巻市立紅田中学校1年）/門田祐輝（東京都八王子市立門田中学校1年）/倉瀬楓月（今治市立西中学校1年）/阿部智帆（石巻市立青葉中学校2年）/西川みこと（徳島市立北原中学校2年）/志坂きあら（石巻市立青葉中学校3年）

習字の部

☆小学校低学年☆(応募点数 1,285点)
【特選（日本水道新聞社社長賞）】能野瑞葉（高崎市立広瀬北小学校2年）
【入選】西森小彩（香知市立小高取小学校1年）/我知吉次（下関市立角倉小学校2年）/松浦裕志（下関市立立山小学校3年）/徳谷真子（会津市立太北部小学校3年）/落丸結稀（高崎市立平江小学校3年）/吉田大樹（宮城県立広瀬北小学校3年）

☆小学校高学年☆(応募点数 1,971点)
【特選（日本水道新聞社社長賞）】土井千結（高崎市立太田小学校5年）
【入選】渡部小夏（会津若松市立河東学園小学校5年）/的場匠海（会津若松市立門田小学校1年）/野藤巧海（和歌山市立木本小学校6年）/阿部唯美（今治市立立花小学校6年）/片岡慶二（高知市立小高取小学校6年）/木原真央（高崎市立広瀬北小学校6年）

標語の部

(応募点数 2,650点)
【特選（全国簡易水道協議会会長賞）】「生活も ウィルス予防も 蛇口から」=磯崎雄（香川県綾川町立瀬田小学校5年）
【準特選】「水道費 命が守る 未来道」=今岡静雄（堺市（78歳））
【入選】「ふしぎだね みずのちからで げんきでる」=武田社舞（東広島市（5歳））/「みずのひとあのごも このこも いいえがはら」=船越神楽（会津若松市立門田小学校1年）/「日本の水 愛おむたくさん ありがとう」=藤川陸（川崎市立伊田小学校3年）/「水道水 手洗いがのびのび」=山田祥子（所沢市（31歳））/「飲んだ水 守りつづける」=大崎のりこ（京都市（71歳））

日本水道新聞第5608号（令和2年12月10日発行）

図画【小学校低学年の部】入選作品



【特選】南方小2年 阿部真梨那



【入選】佐沼小1年 佐々木愛菜

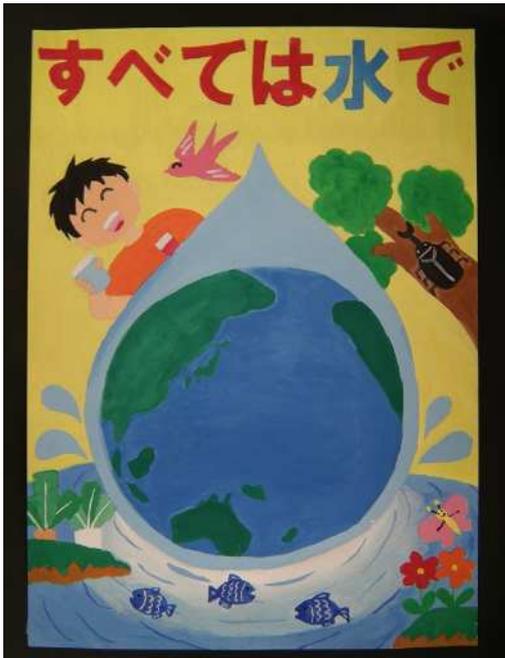


【入選】豊里小3年 佐々木奏

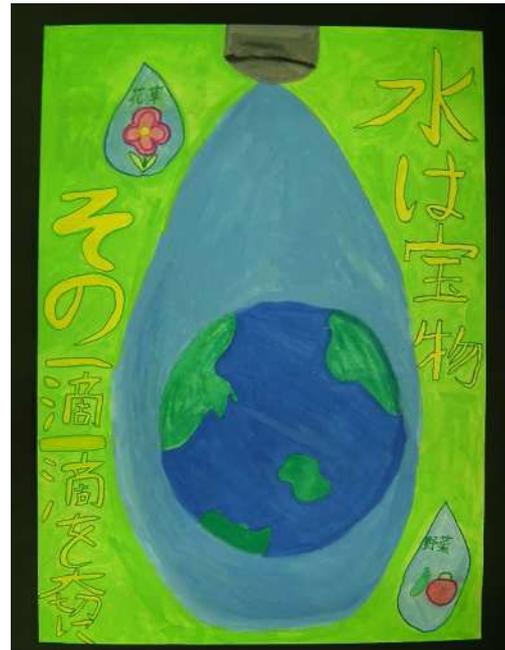


【入選】佐沼小3年 佐々木結愛

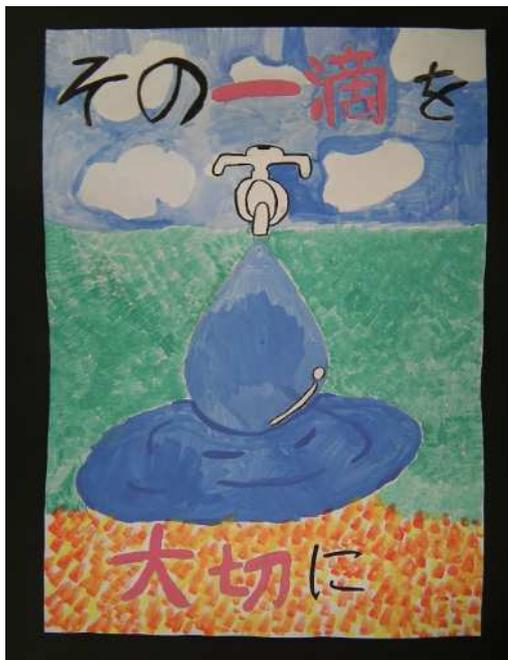
図画【小学校高学年の部】入選作品



【特選】米山東小6年 浅田竜翔



【入選】米山東小4年 菅原心



【入選】豊里小6年 千葉麻緒

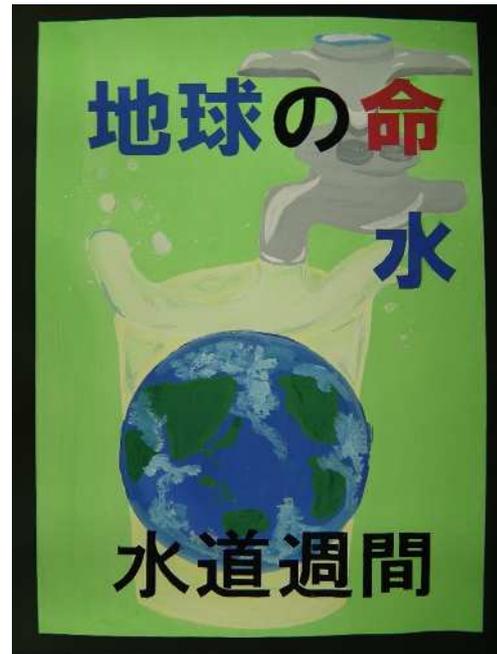


【入選】南方小6年 鈴木楓雅

図画【中学生の部】入選作品



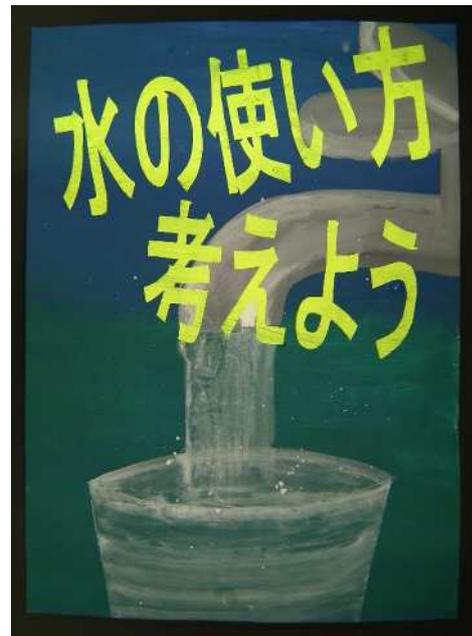
【特選】豊里中3年 佐藤琥太郎



【入選】東和中3年 千葉洵奈



【入選】東和中3年 佐藤陽菜



【入選】豊里中3年 伊藤寧音

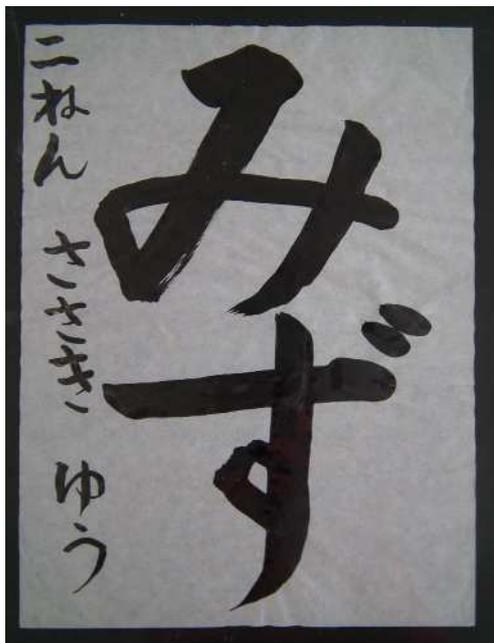
習字【小学校低学年の部】入選作品



【特選】佐沼小3年 佐々木楠乃



【入選】南方小3年 千葉虹和



【入選】登米小2年 佐々木優羽



【入選】佐沼小3年 村上結夏

習字【小学校高学年の部】入選作品



【特選】佐沼小6年 千葉真菜香



【入選】佐沼小5年 千葉彩香



【入選】佐沼小5年 佐々木稜仁



【入選】米谷小5年 千葉愛美璃

【標語の部】

おいしい水
飲める嬉しさ
永遠に

【特選】中津山小4年 石川千晴

おいしい水を
大人の自分に
つなごうね

【入選】米谷小4年 千葉優愛

だつコロナ
手あらい
うがい
しっかりと

【入選】中津山小4年 鈴木翔和

次世代まで
繋げよう
大切な資源
きれいな水

【入選】デクセリアルズ(株)なかだ事業所 千葉早苗

【作文小学校低学年の部】

特選 加賀野小学校3年 清野 凜「わたしの町の水」

【作文小学校高学年の部】

特選 宝江小学校6年 佐久間 心夢「大切な水」

わたしの町の水

加賀野小学校 二年二組 清野 凜

わたしは、いつも使っている水について、お家の人といっしょに調べたり考えたりしました。

まずはじめに毎日どのように水を使っているか考えました。お母さんかりょう理の時、野さいを洗ったりごはんをたく時に使います。先たくやトイシ、かみや体を洗う時など少し考えてみるだけで毎日たくさんのお水を使っています。

いることに気がつきました。また、学校ではバケツいれやトマトなどを育てています。いっぱいばい水をやらないとすぐおれちゃいます。と、一生けん命水やりをたくさんしました。今年の夏は特にあつかったです。水のもたないところ、中しよらもふえました。水のもたないとわっ中しよらになっしまいました。なので、わたしは休み時間になるとかならず水をのんできました。水はわたしの命を守っていることに気がつきました。

毎日とてもたくさんのお水を使っているの
わたしのお家にとどくまでについてきょう味を
もちました。

わたしの家にきれいな水がとどくまでに、
ダムでたくさんわえられて川にながされた水を、
じょう水場できれいにしています。そこから
家にくるまでには水がくやきやうすいか
んを通って家のじゃぐちまできているという
ことが分かりました。水をきれいにするじょう
うすいじょうや、かんりしているところもある

り、そこでにはたらく人たちがいつも水がきれ
いかどうかチェックしてくれている事を知り
たくさんの人のおかげで毎日きれいでおいし
い水を使うことが出来るんだなと思いました。
わたしの家でいるお米市では、おいしい水
がのめるように活性炭を使ったじょううすいし
よりをしたり、水がもれていないかも点検
しているそうです。じゃぐちをひねれば、あ
たりまえにとうめいできれいな水が出てきて、
おいしい水がのめますが、すごくしあわせな

ことだなと思いました。きれいな水を作る人
たちにも、ありがとうの気持ちをもっ、て水を
使おうと思っました。

これからも毎日水を大切に使い生活してい
きたいと思っます。

大切な水

宝江小学校 六年 佐久間 心夢

水は、生きていく上でとても大切です。しかし、私は水の大切さを忘れてしまう時があります。家ではお母さんに、水道の水を安心して飲めるのは、日本くらいしかないよ。もっと大切に使うね。と言われます。私は、（そうだよ。水を大切にしないと。）と、その度に思います。

世界には、安全な水を飲むことができない国でくらしている人がたくさんいます。子どもが水をくみに行く国や、水が汚れているため飲むことができず、生活に困っている国もたくさんあります。募金やボランティアの支援などで、やっと安全な水を飲むことができるようになりました。

五年生の時に、校外学習で浄水機場や排水機場を見学させていたことがありません。施設の方から、

「これからもずっと、水を大切にしてお過ごし
てほしい。」

と言われたことを、今でも覚えています。二
十四時間体制で、お仕事をしていることを知
り、この言葉を忘れずに、毎日を過ごしたい
と思いました。

お風呂上りに蛇口をひねると、日本ではい
つでもおいしい水を飲むことができます。し
かし、貧しい国では、そう簡単に安全な水は
手に入りません。そして、手に入らな

くも、家族みんなで分け合わなければなら
ない。十分な量とは言えません。世界では安
全ではない水を飲んで、病気になる人たちが
いると聞き、とてもこわいと感じました。

今年、世界中で新型コロナウイルス感染
症が流行しているのです。毎日うがい手洗いを
くり返しています。私の家では、今年の五月
に弟が生まれたこともあり、ますます手洗
いなどに使う水の量が増えました。また、弟
のほ乳びんなどを清潔に洗ったり、弟に触れ

る前にも手を洗ったりしています。そのため水がますます大切なものになりました。赤ちゃんの健康を守るため、気を配らなければならぬ大変さを感じています。

私の弟は、毎日笑顔で元気い。はいです。これからも、どんどん大きくなっ。てほしいと思います。弟や家族の健康が、きれいな水によっ。て守られていることを忘れず、水を大切にしていきたいです。

日本のきれいな水は、浄水場や排水機場な

どで働いている方々のおかげです。だから、感謝の気持ちも忘れないようにしたいです。たくさんの方々の努力によっ。てつくられた水をむだにしないで良いわけがありません。一人一人が水を大切に生活していくことが、何より大切だと思います。まずは、水を大切にしよう。

と胸を張っ。て言える自分でいたいと思います。